

# 「学び」ってなんだろう？

～長い休みだからこそできること～

保護者の皆様、そして那須高原小学校のみなさんへ

まもなく、待ちに待った夏休みが始まります。

本当の「学び・学ぶ」とは、为什么呢？

学びとは・・・「これってどういうことだろう？」「もっと知りたい！」というワクワクする気持ちからスタートするものだと思います。疑問や好奇心は、「見えない学力」を育てる最大の原動力（エンジン）になるからです。

## 好奇心が「粘り強さ」を育てる

「勉強しなさい」と言われてやる勉強は、長続きしなかったり、壁にぶつかったりするとすぐに諦めてしまいがちです。でも、自分がやりたい！知りたい！と思った疑問に対しては、子どもは驚くほどの集中力を発揮します。虫や植物を毎日じっくり観察してみる。料理や工作で、失敗しながらも最後まで作り上げる。この「途中で投げ出さずにやり抜く力」こそが、目に見えない学力の土台です。

## 疑問が「思考力・判断力」を深める

与えられた正解を覚えるだけでは、AI時代を生き抜いていく思考力は身に付きません。日常の中で「これって、おかしくない？」「どうしてこうなるんだろう？」と疑問を持つことで、初めて自分の頭で考え始めます。

## 「見えない学力」が結果的に見える学力を押し上げる

映画「みんなの学校」で知られる大空小学校の初代校長・木村泰子氏は、著書『10年後の子どもに必要な「見えない学力」の育て方』の中で、「人を大切にできる力」「自分の考えを持つ力」「自分を表現する力」「チャレンジする力」の4つとして定義しています。

私達はつい、目に見える「幹や葉っぱ」ばかりを気にして、「もっと点数を上げなさい」と言ってしまうがちです。しかし、地面の下にある「根っこ」がしっかりと張っていないければ、木は大きな風が吹いたときに倒れてしまいます。逆に、自分の「好き」を突き詰め、失敗しても「もう一回やってみよう！」と折れない心を働かせるような強い根っこ（見えない学力）が育つと、それは結果的に、地面の上の幹や葉っぱ（見える学力）をぐんぐんと押し上げていきます。

学校を離れるこの40日間は、自分の「好き」や「不思議」をトコトン追いかける絶好のチャンスです。「自分でやってみた！」という経験のすべてが、みなさんの心を豊かにする大切な「学び」になります。

保護者の皆様におかれましては、子どもたちの「これ、なんでだろう？」にぜひ耳を傾けていただき、一緒に楽しむ、あるいはそっと見守る時間を少しでも作っていただければ幸いです。

ぜひ、心も体も動かす、充実した夏休みにしてください。一回り大きくなったみなさんに会えるのを楽しみにしています！

### 【夏休みの課題】

那須高原小学校 学習指導部 宮崎

◎1～6年生必須課題・・・夏休みのドリル

○1～6年生選択課題・・・①国語課題一覧から1点

②図工・書写課題一覧から1点

選択課題の提出期間：8月17日（月）～8月24日（月）

学校での受付時間：9：00～15：00 ※土・日は除きます。

夏休み明けのコンクール出品準備のため、選択課題は上記期間内に学校へお届けください。